



## 平成31年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年1月15日

上場会社名 中本パックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7811 URL http://www.npacks.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河田 淳  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 吉 功 TEL 06-6762-0431  
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	25,869	3.8	1,339	16.2	1,371	7.7	897	11.2
30年2月期第3四半期	24,918	5.9	1,152	△4.6	1,273	11.3	806	30.2

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 758百万円 (△17.9%) 30年2月期第3四半期 923百万円 (168.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	109.84	—
30年2月期第3四半期	98.74	—

(注) 1. 当社は、平成30年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第3四半期	27,676	11,820	41.5	1,403.83
30年2月期	25,935	11,509	43.0	1,363.58

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 11,472百万円 30年2月期 11,143百万円

(注) 当社は、平成30年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	55.00	—	55.00	110.00
31年2月期	—	27.50	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	27.50	55.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 当社は、平成30年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成30年2月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。  
 3. 30年2月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 5円00銭  
 30年2月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 5円00銭

### 3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	4.6	1,500	12.6	1,600	7.6	1,000	1.9	122.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
 新規 2社 （社名）Nakamoto Packs USA, Inc.、滄州中本華翔新型材料有限公司、除外 1社 （社名）－  
 （注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
 （注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期3Q	8,173,320株	30年2月期	8,173,320株
② 期末自己株式数	31年2月期3Q	983株	30年2月期	912株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期3Q	8,172,388株	30年2月期3Q	8,172,562株

（注）当社は、平成30年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大規模な自然災害の影響が一部あったものの、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国の通商政策の動向や人手不足などの影響により先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、「改質エコ技術でパッケージングの世界を変える Nブランド製品の拡販と環境経営の推進」をスローガンに、グループ全社が結束して開発製品の販売や重点得意先への営業強化に注力する一方、生産性向上や品質管理の改善を図るなど、業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は25,869百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は1,339百万円（同16.2%増）、経常利益は1,371百万円（同7.7%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は897百万円（同11.2%増）となりました。

製品用途別の業績は次のとおりであります。

## (食品関連)

第2四半期に引き続き、コンビニエンスストア関連のフィルム印刷関係が堅調に推移しました。また夏季シーズンにピークとなるシート印刷関係の受注が継続したほか、秋から初冬に向けての乳製品、惣菜分野の受注も順調であり、売上高は17,777百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

競合他社との競争激化など利益圧迫要因は継続していますが、素材の減量化や環境に配慮した印刷の提案等により差別化をはかるほか、価格交渉やフィルム構成変更の提案・採用により、売上総利益は2,080百万円（同11.7%増）となりました。

## (IT・工業材関連)

電子部品・デバイス関係はIoTビジネスをターゲットとした商材の開発や生産が活発になっており、当社機能性フィルム加工分野においてもモバイル関連と電子部品製造工程に使用するフィルムが第2四半期に引き続き堅調な受注で推移し、売上高は3,798百万円（前年同期比27.2%増）、売上総利益は958百万円（同40.2%増）となりました。

## (医療・医薬関連)

ジェネリック医薬品向けの受注が堅調であった一方で先発医薬品向けの販売が減少、また貼付剤関連の在庫調整や薬価改定による価格競争の影響により、売上高は983百万円（前年同期比10.4%減）、売上総利益は222百万円（同16.7%減）となりました。

## (建材関連)

戸建・集合マンション・賃貸住宅・リフォーム・家具と全体的に順調な受注がありました。また、山陽地区の災害復興関係の需要にも短納期で対応し、売上高は588百万円（前年同期比8.2%増）となりました。しかし、新規案件の試作費用等により製造原価が増加したため売上総利益は92百万円（同4.0%減）となりました。

## (生活資材関連)

DIY関連は堅調に推移したものの、第2四半期から継続して圧縮袋の一部顧客による在庫調整の影響と、高付加価値製品の販売減少により、売上高は2,429百万円（前年同期比14.7%減）、売上総利益は621百万円（同22.3%減）となりました。

## (その他)

サーマルレジ用紙、インクジェット用紙等の受像層の加工は堅調であったものの、リサイクルペレットの価格が下落したことにより、売上高は290百万円（前年同期比1.5%減）となりましたが、生産性向上など原価低減の効果もあり売上総利益は94百万円（同10.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,740百万円増加し、27,676百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が428百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が542百万円、電子記録債権が293百万円、たな卸資産が243百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ719百万円増加し、14,874百万円となりました。

固定資産につきましては、生産能力増強を目的とした設備投資等に伴い有形固定資産が1,056百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,020百万円増加し、12,801百万円となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,430百万円増加し、15,855百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が682百万円、電子記録債務が232百万円、賞与引当金が195百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,291百万円増加し、12,955百万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が169百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ138百万円増加し、2,900百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ310百万円増加し、11,820百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が449百万円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月13日に公表いたしました平成31年2月期の連結業績予想について変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,601,164	3,172,300
受取手形及び売掛金	6,884,040	7,426,722
電子記録債権	899,632	1,193,535
商品及び製品	1,568,348	1,684,013
仕掛品	338,548	424,265
原材料及び貯蔵品	608,893	651,215
その他	259,770	327,459
貸倒引当金	△5,836	△5,390
流動資産合計	14,154,561	14,874,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,659,792	4,488,276
機械装置及び運搬具（純額）	2,182,999	2,055,066
土地	2,845,829	2,928,210
その他（純額）	609,450	1,883,223
有形固定資産合計	10,298,071	11,354,776
無形固定資産	173,684	160,024
投資その他の資産		
その他	1,336,447	1,314,173
貸倒引当金	△27,095	△27,095
投資その他の資産合計	1,309,351	1,287,077
固定資産合計	11,781,107	12,801,878
資産合計	25,935,669	27,676,001

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,814,014	3,496,274
電子記録債務	3,486,910	3,718,973
短期借入金	3,414,524	3,489,609
1年内返済予定の長期借入金	779,841	787,234
未払法人税等	225,258	295,503
賞与引当金	189,098	384,256
その他	754,413	783,929
流動負債合計	11,664,061	12,955,782
固定負債		
長期借入金	2,365,512	2,535,414
退職給付に係る負債	172,692	142,384
その他	223,498	222,243
固定負債合計	2,761,702	2,900,041
負債合計	14,425,763	15,855,824
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,057,468	1,057,468
資本剰余金	1,158,408	1,158,408
利益剰余金	8,171,483	8,621,118
自己株式	△838	△970
株主資本合計	10,386,521	10,836,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	247,405	197,051
繰延ヘッジ損益	3,778	1,085
為替換算調整勘定	428,704	366,682
退職給付に係る調整累計額	77,345	71,752
その他の包括利益累計額合計	757,233	636,571
非支配株主持分	366,149	347,580
純資産合計	11,509,905	11,820,176
負債純資産合計	25,935,669	27,676,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	24,918,045	25,869,106
売上原価	21,123,743	21,799,783
売上総利益	3,794,301	4,069,323
販売費及び一般管理費	2,641,712	2,729,598
営業利益	1,152,588	1,339,724
営業外収益		
受取利息	1,365	1,411
受取配当金	7,981	7,883
持分法による投資利益	5,324	5,747
受取地代家賃	25,539	23,599
為替差益	14,843	—
その他	143,383	94,591
営業外収益合計	198,438	133,232
営業外費用		
支払利息	47,207	48,425
一部指定関連費用	19,000	—
為替差損	—	33,674
その他	11,241	19,740
営業外費用合計	77,448	101,840
経常利益	1,273,578	1,371,116
特別利益		
固定資産売却益	15,401	2,973
特別利益合計	15,401	2,973
特別損失		
固定資産売却損	7,981	3,214
固定資産除却損	1,235	2,680
減損損失	12,960	2,183
特別損失合計	22,177	8,077
税金等調整前四半期純利益	1,266,802	1,366,011
法人税等	415,918	469,917
四半期純利益	850,884	896,093
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	43,931	△1,583
親会社株主に帰属する四半期純利益	806,952	897,677



（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日）
四半期純利益	850,884	896,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,517	△50,421
繰延ヘッジ損益	△9,638	△2,693
為替換算調整勘定	14,737	△79,008
退職給付に係る調整額	△783	△5,592
持分法適用会社に対する持分相当額	1,972	68
その他の包括利益合計	72,805	△137,647
四半期包括利益	923,689	758,445
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	877,251	777,014
非支配株主に係る四半期包括利益	46,437	△18,569

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

第1四半期連結会計期間より、Nakamoto Packs USA, Inc. 及び滄州中本華翔新型材料有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。